

VOICE

Volunteers Of International Communication & Exchange



VOL.64

発行日 2016年9月30日
発行 熊本県国際協会
〒862-8570
熊本市中央区水前寺6丁目18-1
熊本県国際課内
TEL 096-385-4488
FAX 096-277-7005
E-mail kuma-koku@cup.ocn.ne.jp
ホームページ http://www.kuma-koku.jp/

1 国際協会活動報告

- 平成 28 年度総会について
- 平成 28 年度国際事業部会事業提案会について

2 人物・会員団体紹介

- サンバダンサー・マサシさん
- 熊本カナダ協会

3 トピックス

- 地元小学生とカンボジア研修生との交流 —— 芦北町国際交流協会
- 地震救援が第一です —— NPO 法人熊本インドネシア友好協会
- 姉妹都市締結 20 周年記念事業 —— 水俣市
- 熊本の留学生たち —— 熊本学園大学

4 お知らせ

- 新規会員 —— フェアトレードシティくまもと推進委員会
- 第 23 回熊本国際交流祭典の開催について

5 会員団体行事予定



第 23 回熊本国際交流祭典フライヤー

◆平成28年度総会について

6月27日に水前寺共済会館にて、平成28年度熊本県国際協会総会が開催されました。今年度は、4月に起きた熊本地震の影響で、延期しての開催となりました。会員団体の参加が心配されましたが、当日は会員67団体（うち委任状22団体）の出席のもと、無事開催することが出来ました。総会では、平成27年度事業実績・収支決算及び本年度の事業計画・収支予算並びに協会役員交代について審議が行われ、全ての議案が承認されました。また、新たに就任された3名の役員から、それぞれ挨拶があり、併せて事務局から、ネパール地震（2015年4月25日発生）及び台湾南部地震（2016年2月6日発生）に対する災害義援金の募金結果等について報告がありました。

議事終了後は、2019年国際スポーツ大会（女子ハンドボール世界選手権、ラグビーワールドカップ）の実施に向けた県の動きについて、熊本県国際スポーツ大会推進課より説明がありました。

次に、NPO法人ディスカバリー熊本ボランティアの会理事長の野田恭子様から来熊した海外の方へのおもてなし時の注意点・考慮すべき点についても経験をもとにご講演をいただきました。今後求められる熊本の受け入れ体制について考えるよい機会となりました。



野田恭子氏による講演の様子



山部理事長による開会あいさつ

新役員あいさつ
左から上野氏、石氏、小金丸氏

◆新役員紹介（任期：2017年4月20日まで）

総務企画部会理事	上野 淳（熊本日伯協会）
〃	石 岩（東海大学）
理事・事務局長	小金丸 健（熊本県国際課）

◆平成28年度国際事業部会事業提案会について

6月29日にくまもと県民交流館パレアで、国際事業部会事業提案会が開催されました。

提案会では、応募6団体による事業内容の説明後、審査が行われました。審査の結果、次の6事業が採択されました。

- ・第24回「アフリカの子どもの日」in Kumamoto
（熊本県ユニセフ協会）
- ・熊本ユネスコ協会留学生との交流事業
（熊本ユネスコ協会）
- ・益城復興支援市場国際交流茶話会
（MATE インターナショナル倶楽部）
- ・第11回熊本2017セント・パトリックス・デイ・パレード
（熊本アイルランド協会）
- ・K I F A 広場 2016
（特定非営利活動法人熊本インドネシア友好協会）
- ・国際教育のための夏季研修会
（熊本県国際教育研究会）



大木国際事業部会長挨拶

◆ サンバダンサー・マサシさん — サンバを通じて熊本とブラジルの架け橋に

— サンバダンスに興味を持ったきっかけを教えてください。

もともと東京でヒップホップ等をしていましたが、もっとお客さんも楽しめるものはないかと思っていたところ、雑誌でサンバダンスのチームを知りました。サンバは打楽器演奏もある総合的なカルチャーです。練習を見せてもらい衝撃を受け、「自分にはこれしかない!」と確信し、5回もブラジルに渡り、本場での修行を重ねました。

— どうやって熊本で活動の場を広げていかれたのですか？

東日本大震災後、2012年4月に熊本に移住しました。熊本ではサンバはあまり知られておらず最初は苦労しました。飛び込みで営業を行ったり、繁華街で経営者の方々などに話しかけ、自分はサンバダンサーであることをPRするなどして、少しずつ活動の場を広げ、熊本日伯協会のイベント等にも参加するようになりました。

— 公演の時はどんなことを心がけていますか？

いかにしてお客様に満足して頂けるか、観る方にエネルギーを与え、元気になってもらえるかを考えています。

— 今後の抱負をお聞かせください？

熊本で活動するようになって、熊本はブラジルへの移住者が多くブラジルとの縁が深いことを知りました。今後、熊本とブラジルの架け橋になると同時に、東京や県外にも活動の場を広げ、子どもの教育や国際交流の分野にも活動の幅を広げたいと思っています。



プロフィール：

東京都出身、熊本市在住。
プロのサンバダンサーとして県内外で活躍中。

◆ 熊本カナダ協会 — 激震を乗り越えて

熊本カナダ協会は、会長と副会長がカナダアルバータ州エドモントンに2年間留学していた経験を生かし、カナダに関する情報提供ができればとの思いで設立されました。カナダが好きな方が集まり、カナダの生活スタイル、文化、芸術などに触れながら、相互の交流、親睦を深めています。

発足から23年を迎えたこの春、熊本地震という想像の出来ない体験をしました。4月14日の前震後すぐにカナダ政府商務省担当で福岡在住の藤井様から連絡を頂き「必要な物資を車でこれから届けます。何がいいですか？」不安と緊張のなか、「今



支援物資各種

できることをしよう！カナダが応援してくれている！」そして、あの本震の翌日には車に満載された支援物資

を使い、2日間メープルリーフカフェ駐車場で、さらに合志市の泉ヶ丘公民館と元気の森公園で炊き出しができました。留学先のカナダ時代の友人たち、地元の農家の皆様、愛媛の夏井いつき先生率いる俳句の仲間たち、避難して来たたくさんの人たちの支援の輪に心から感謝します。被災して失ったことよりも「復興」という貴重な体験を得たことで、これからを大切にして共に歩いて行きましょう。

熊本カナダ協会副会長 大木 歌子



炊き出し出来上がり

◆ 地元小学生とカンボジア研修生との交流 ―― 芦北町国際交流協会

芦北町国際交流協会では、町立大野小学校と協働で、2005年から食育と国際貢献を同時にできる取組みとして、お米を作って販売し、その益金をカンボジアの学校建設に役立てる「カンボジア募金米づくり」を行っています。また、2009年からは、同じく「サラダ玉ねぎづくり」にも取り組んでいます。

今年6月8日には、田植えを実施し、3～6年生の児童26名と、中九州短期大学（八代市）で学ぶ王立プノンペン大学からの研修生9名が参加しました。

作業後は、体育館で保護者やJ A女性部が準備した食事を囲み「さなぶり¹」を開催しました。

研修生と児童との交流学習会では、カンボジアの言語で



カンボジア研修生と一緒に田植え



さなぶりの様子



クメール語での名刺交換



カンボジアの文化を日本語で紹介

あるクメール語を使った名刺交換、研修生らの日本語による自国の文化紹介などを行いました。児童たちは、研修生の話しに耳を傾けていました。

同小学校の取組みには、3年前から研修生が参加していますが、昼食会や授業中の交流は初めての試みでした。児童たちは、支援をしているカンボジア王国の研修生と直接交流することによって、国際貢献を身近に感じたようでした。

この小さな交流の積み重ねから、広い視野を持ち、世界を見通せる人材が巣立っていくことを期待しています。

芦北町国際交流協会 事務局（芦北町企画財政課内） 蓑田 真平

¹ 「さなぶり」とは、田植えを無事に終えたことを神様に感謝し、苦労をねぎらって行う宴会や食事会。

◆ 地震救援が第一です — 熊本インドネシア友好協会 (K I F A)

2016年4月14日の地震報道直後に、インドネシアから電話がありました。電話は当協会(K I F A)のスリアワン・洋子特別顧問からで、ご主人のルディスリアワン氏が物資(400万円相当)をK I F Aと洋子さんが特別顧問を務めているケア・サポーターズクラブ熊本を通して支援したいという申し入れでした。

K I F Aでは、まず、被災者の方に支援物資を直接届けられるように情報収集をしたうえで、福岡の大規模店舗から必要な物資を購入しました。高齢者に配慮して、500mlの水を3万5千本配布するとともに、簡易トイレ、パームトイレ、簡易ベッド、携帯ガスコンロなど、計162種類5170点、総数量からすると数万個の物資を配布しました。人出が足りない中、熊本中央高校の先生方15名ほどから手



炊き出しの様子(大津総合運動公園にて)



避難者を受け入れている天寿園にて

伝いの申し出があり大変助かりました。更に、避難所に指定されていない所や、高齢者の一人住まいで給水など出来ない個人宅、高齢者施設、小学校、幼稚園、保育園、個人医院などにも届けました。

また、野菜、肉や食器を購入し、当協会の副理事長と会員が大津町

総合運動公園で数日間の炊き出しボランティアに参加しました。

2トトラック2台、ライトバン2台で4月20日から23日までかかりましたが、早めに対応できたので大変喜ばれました。



高齢者お宅へ配送する中央高校の先生方

NPO 法人熊本インドネシア友好協会理事長 森 義臣

◆ 姉妹都市締結20周年記念事業を実施しました — 水俣市

水俣市は、1996年に、オーストラリア・デボンポート市と姉妹都市締結を行い、今年(2016年)で姉妹都市締結20周年を迎えました。

これを記念して、去る2016年4月7日から12日までの間、デボンポート市長をはじめとする8人の訪問団が水俣市を訪れました。



茶道体験

滞在中は、水俣病資料館や市内の福祉施設を視察され、公害、環境、人権等に対する理解を

深め、更に市内の保育園で園児と交流したり、茶道体験で日本の文化に直接触れたりする中で、市民との交流を楽しみました。

今後は、水俣市の訪問団がデボンポート市を訪れる予定であり、今後更なる姉妹都市交流の発展が期待されます。



親水護岸にて

水俣市政策推進課

◆ 熊本の留学生たち — 熊本学園大学

—熊本学園大学では、2016年5月1日現在8カ国・地域から39名の留学生在籍し、日本語をはじめ専門分野について勉強しています。

新入留学生歓迎バス旅行や外国人留学生弁論大会など学内イベントも実施しています。

徐 鑫苑 (ジヨウキン) さん (22)

商学部経済学科、中国



- 日本では猫をよく見かけるので、とても不思議です。
- いろいろな友達を作るのはとても面白いです。友だちと一緒に旅行している時が一番楽しいです。
- 将来は雑誌についての仕事がしたいです。

Duffy, Liam (ダフィリアム) さん (24)

経済学部国際経済学科、カナダ



- 日本に来てコンビニや電車が便利だと感じました。また熊本はよく都市計画された街だと思います。カナダの文化と日本の文化で似ているところは、よく人に謝ったり丁寧に対応するところです。

• カナダ人ですからやはり屋外での活動が好きです。ハイキングで立田山に行くこともあります。美味しいレストランを見つけるのも好きです。

• もともと政治に興味がありますが、最近はNPOやNGOにも興味があります。世界を旅して、人を助ける、手伝うような仕事に就きたいです。

莊 亞霓 (ウァニ) さん (21)

経済学部国際経済学科、台湾



- 初めて自転車で街に行ったとき、車の信号が緑になったけど、自転車に乗る人と歩行者たちはまだ待っていて、びっくりしました。
- 休みの日にもし何の予定もないなら、まず部屋を掃除して、勉強して、寮のみんなと楽しんで遊びます。皆と一緒にパーティーする時が一番楽しいです！

• 将来は観光に関する仕事をしたいです。そのために、日本語を勉強しています。

丁 泰勻 (ジヨンテユン) さん (25)

商学部ホスピタリティマネジメント学科、韓国



- バスや電車の乗客はみんな静かだと思います。そして自動販売機が多くて便利です。
- 音楽鑑賞する時が一番楽しいです。世界のいろんな音楽を楽しみます。せっかく日本に来たので、J-Popも積極的に聞いています。
- アジアの文化を世界に伝える仕事につきたいです。今は主にマーケティングとホスピタリティについて勉強中です。

韓 明秀 (カメイウ) さん (30)

大学院商学研究科経営学専攻、中国



- 日本に来て、スイカに塩をかけることが変だなと思いました。中国で、こんな食べ方がありません。そして、日本語の「いいです」は2つの意味があります。

日本に来たばかりの頃はよく間違っていました。

- 普段休みの日には友達とショッピングしたり、映画を見に行きます。長い休みがあれば、旅行に行きます。
- 将来ビジネスコンサルタントになりたいです。大学院では、特に経営戦略とマーケティングを深く勉強しています。

朴 妍珠 (パクヨンジュ) さん (23)

外国語学部東アジア学科、韓国



- 初めて日本に来たとき、道がとても狭くて大変でした。熊本では皆礼儀が正しいことと、車がよく止まってくれて道を渡らせてくれたのがよかったです。
- 楽しいのは料理を作る時です。日本に来る前はあまり料理に関心はなかったのですが、日本に来て料理を作るようになって関心を持つようになりました。

• 日本語を勉強しているので日本語に関する仕事をしたいです。

◆ 新規会員の紹介 — フェアトレードシティくまもと推進委員会

みなさん、初めまして。私たちは、フェアトレードの普及を推進している団体です。

現在、世界には1800以上のフェアトレードタウンがあり、特に発祥の地イギリスでは、フェアトレード大学もあるなど、教育の中に取り入れてあり、認定された食品などのフェアトレード製品がスーパーに普通に並んでいるのは当たり前です。私たちは、フェアトレードの認知度を上げる活動を一つのテーマにし、みなさんに理解していただきたいと、様々な活動に取り組んできました。それは、世界でフェアトレードシティはどんどん増え続けていることに希望も持っているからです。



火の国祭り「おてもやん総踊り」に参加

そして、2011年6月、熊本市がアジア初の世界1000番目のフェアトレードシティとして認定され、2014年3月に、熊本市国際交流会館で第8回フェアトレードタウン国際会議を開催しました。期間中、世界のフェアトレード関係者が一堂に会し、様々な課題を話し合い、大変有意義な機会でした。また、7月にはレバノンで開催された中東初のフェアトレードタウン国際会議にも参加してきました。それらにより、熊本市において、フェアトレードの認知度は39.8パーセントとなり、日本で市民が一番フェアトレードを知っている街になりました（2015年フェアトレードフォーラムジャパン調べ）。

フェアトレードが、世界に広がり、平和な世の中になりますように、これからも活動を続けていきます。

フェアトレードシティくまもと推進委員会 明石 祥子

フェアトレードとは

開発途上国の原料や製品を適正な価格で継続的に購入することにより、立場の弱い開発途上国の生産者や労働者の生活改善と自立を目指す「貿易のしくみ」をいいます。

フェアトレードタウン（シティ）とは

町ぐるみでフェアトレードを応援することで、行政、議会、マスコミ、企業、市民が一丸となり、みんなで協力し合う街、市のことをいいます。

■ WFTO（World Fair Trade Organization）の掲げるフェアトレードの10の基準 ■

- | | |
|---------------------|--------------------------|
| 1. 生産者に仕事の機会を提供する | 6. 差別せず、男女平等と結社の自由を守る |
| 2. 事業の透明性を保つ | 7. 安全で健康的な労働条件を守る |
| 3. 公正な取引を実践する | 8. 生産者のキャパシティビルディングを支援する |
| 4. 生産者に公正な対価を支払う | 9. フェアトレードを推進する |
| 5. 児童労働および強制労働を排除する | 10. 環境に配慮する |

◆ 国際相談コーナーについて

熊本県国際協会の国際相談コーナーでは、在住外国人や県民の皆さんなどを対象に、面接、電話、文書による法律、労働、結婚、教育、国際協力、その他生活全般についての相談を受け付けています。

日常のちょっとした困り事や様々な問題に関するご相談、ご質問がありましたら、お気軽にお電話ください。（対応言語：日本語、英語、中国語、韓国語、スペイン語、ポルトガル語 日時：平日9：00～17：00）

◆「第23回熊本国際交流祭典」の開催について

日時:2016年11月27日(日) 11:00~16:00

会場:阿蘇くまもと空港ホテルエミナースの敷地内 ※入場無料

今年は、ホテルエミナースの協力を得て開催します。震災復興の願いを込めたステージ披露、世界のグルメ、バザー、国際交流・協力活動などのパネル展示、着物・煎茶体験コーナー、スタンプラリー、フェイスペインティング等々。ご家族やお友だち同士、お子様から大人まで誰でも楽しめますよ！ぜひご来場ください♪ (※写真は2015年の様子)



祭典当日のお手伝いをしていただけるボランティアを募集しています！！

詳しくは、熊本県国際協会HPをご覧ください。事務局までお気軽にお問い合わせください。

■ 熊本県国際協会事務局 TEL:096-385-4488 FAX:096-277-7005

HP: <http://www.kuma-koku.jp/> E-mail: kuma-koku@cup.ocn.ne.jp



会員団体行事予定

(2016年10月~2017年3月)

事業名	開催日時・場所	事業内容	主催・連絡先
芦北町国際交流協会発足20周年記念事業 「第15回 International Festival - 国際交流まつり in 芦北 - 」	2016年10月23日(日) 10:00~16:00 J Aあしきたファーマーズマーケットでこぼん	ステージ、物販、グルメバザー、民族衣装の試着など楽しいイベント満載！	芦北町国際交流協会事務局 蓑田 真平 0966-82-2511 (内線 252) http://ashikokukyou.com/
国際交流バザー 「地震復興のために」	2016年10月29日(土) 10:00~14:00 熊本白川教会 熊本市中央区九品寺 2-2-24	国際交流の一環として、たくさんのお品、衣類の販売。また、お食事コーナーもあります。	王栄国際交流委員会 栗津 安和 096-363-4315 http://sirakawakyokai.com/
国際交流 「クリスマス・イブ・パイプオルガンコンサート」	2016年12月24日(土) 熊本白川教会 熊本市中央区九品寺 2-2-24	音楽を通して本当のクリスマスをお国から日本にいらっしゃっている方々と共に楽しみましょう。	王栄国際交流委員会 栗津 安和 096-363-4315 http://sirakawakyokai.com/

広報誌「VOICE」の編集委員

上野淳(熊本日伯協会)、上村勝代(熊本市北部国際青年交流会)、清田忠臣(熊本県日中友好協会)、石岩(東海大学)、神保勝己((公財)熊本YMCA)、寺本祐司(崇城大学)、藤門豊明(熊本アイルランド協会)、松川勝一郎((一社)熊本青年会議所)、毛利秀士(熊本むくげの会)、協会事務局